

平成 2 8 年度  
日野市中央公民館の  
運営の状況に関する評価書  
(平成 27 年度事業)

市民による市民のための公民館  
～地域に生きる市民の底力～

平成 2 8 年 9 月  
日野市中央公民館

## 目 次

1. はじめに	1
2. 評価の目的	1
3. 公民館の現状	1
(1) 施設	1
(2) 貸室利用事業（平成27年度）	1
(3) 組織・職員	2
(4) 主な業務	2
4. 評価の対象	2
5. 評価の実施方法	3
6. 評価の結果	3
公民館運営審議会の総評	3
公民館の自己評価	4
7. 評価表	5
<b>資料</b>	
I 日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱	19
II 公民館運営審議会委員名簿（第25期・第26期）	20
III 公民館事業のあらまし	21



## 1. はじめに

平成 20 年 6 月に「社会教育法」が改正され、運営の状況に関する評価等として、「公民館は、当該公民館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき公民館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」とされました。また、これに先駆けて平成 15 年には、公民館の設置及び運営に関する基準において「公民館は、事業の水準の向上を図り、当該公民館の目的を達成するため、各年度の事業の状況について、公民館運営審議会等の協力を得つつ、自ら点検及び評価を行い、その結果を地域住民に対して公表するよう努めるものとする。」とされてきたところです。

これらを受け、公民館では平成 21 年 3 月 31 日に、「日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成 21 年度から公民館の運営状況に関する評価を実施することにしました。

## 2. 評価の目的

この評価は、公民館の運営の状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深めるとともに、連携及び協力の推進に資するため、そして、効果的で市民・利用者に信頼される公民館事業を推進することを目的に行います。

この目的遂行のため、公民館は毎年 1 回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとします。

そして、評価結果に基づき公民館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

## 3. 公民館の現状

### (1) 施設

名 称	延べ床面積	開 館 日	所 在 地
中央公民館	704 m <sup>2</sup>	昭和 41. 7. 1	日野本町 7-5-23
中央公民館高幡台分室	953 m <sup>2</sup>	平成 16. 4. 21	程久保 550 教育センター内

### (2) 貸室利用状況（平成 27 年度）

名 称	部屋の名称	年間利用者数
中央公民館	実習室、ホール、視聴覚室、小会議室、講座室 A・B、調理実習室、談話室	39,407 人
中央公民館高幡台分室	講座室 1～6、実習室、談話室、和室	28,831 人

- (3) 組織・職員 ※平成 28 年 3 月 31 日現在  
1 課 2 係 (管理係・事業係)  
正規職員 7 人  
再任用職員 1 人  
臨時職員 1 人  
嘱託職員 (コミュニティワーカー) 1 人

(4) 主な業務

- ・公民館活動 (成人・高齢者・青少年対象の講座等) の企画運営
- ・公民館関係資料の収集、保存及び作成
- ・公民館施設の貸し出し管理等

## 4. 評価の対象

評価の対象は、「平成 27 年度中央公民館基本方針」にある基本施策 10 件及び重点施策 4 件を対象といたしました。

### 1 基本方針

公民館を日野市民にとって自由で民主的な学びの場として機能させるために諸条件の整備・充実をすすめる。

市民がまなびの主体であると同時に、まなびを作り広げる主体として、公民館事業に生き生きと参加・参画できるように、各種事業を企画・運営し、情報提供や相談業務などの充実を目指す。

### 2 基本施策

- (1) 市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを実感できるような事業の展開を図る。
- (2) 誰もがともに生き学びあう機会を保障し、相互理解の推進に努める。
- (3) 心身共に健やかに生きることの素晴らしさを理解できるような事業の展開を図る。
- (4) 自然と人間との共生・人間相互の共生をはかるような事業を展開する。
- (5) 安心できる日野市・安全な社会を旨とした事業を展開する。
- (6) 日野市をふる里として生きていけるような、地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する。
- (7) 市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する。
- (8) 憲法や平和・民主主義を地域にいかせるような事業の展開を図る。

(9) 地域社会を活性化させる担い手となるリーダーの育成を推進する  
ような事業を展開する。

(10) 地域や日野市民の生活に根ざした諸問題を取り上げた事業を展  
開する。

### 3 重点施策

(1) 「ひの市民大学」事業の内容を検証し、再構築を継続して行い、  
充実を図る。

(2) 「ひのアートフェスティバル」事業の内容を検証し、充実を図る。

(3) 公民館サークル・団体の学習活動の資料を再編し、参加したい市  
民へのわかりやすい提供情報を作成する。

(4) 戦後70年平和事業を実行委員会形式で実施する。

## 5. 評価の実施方法

評価を行うにあたっては、社会教育法で設置が謳われている公民館長の諮問機  
関である第25期公民館運営審議会委員（資料Ⅱ参照）の意見を伺いながら行い  
ました。本評価は施策評価であるため、事業別の評価資料を作成した上で、それ  
に基づき公民館運営審議会委員に課題・問題点と評価の提起をいただき、評価を  
総括いたしました。

## 6. 評価の結果

### 《公民館運営審議会からの総評》

全体的には、講座の種類、内容が多岐に渡っており、充実した事業の展開が図  
られていることを評価する。基本施策ごとの事業数は(1)の柱に集中している  
が、(2)～(10)について幅広い年代に対応すべく、いろいろなジャンルの  
講座が図られ、工夫もみられる。参加者の講座に対する満足度が高ければ、成果  
があったものと評価できる。

公民館まつりやアートフェスティバルは、参加人数も多く、ともに長い歴史が  
ある。今後とも、多くの市民が楽しめるよう工夫し、継続をしてほしい。

ひの市民大学については、リニューアルから今後の事業展開について、公民館  
講座と棲み分けながら充実していくことを期待していきたい。

講座を開催するにあたり、公民館として伝えたいことと、それを受け取る市民  
との距離・ギャップは常にある。参加人数が極端に少ない講座は、満足度を検証  
しながら、これを埋めていくことが公民館活動の目的であり、重要な課題である。

また、開催を知っていれば行ったのに、と思う市民も多くいると思う。いかに  
知らせるか、知ってもらうか、周知方法についてさらに検討を進めてもらいたい。

「いつでも」「どこでも」「だれもが」学び、学び合える場として、公民館の役割を発信し、事業の充実が図られることを期待する。

以下に、今後の課題を記しておきたい。

- ・児童館、小中学校との連携を図る
- ・知っていれば行ったのと思う市民にどうアプローチするか検討する
- ・テーマ良し、講師良しでも、人が集まらない講座は、しっかりと分析が必要である
- ・市民の日常生活と密接なつながりを持つ事業を、最優先で企画すること
- ・公民館を市民生活にどのように組み込むか、それにはどうすれば良いのか検討する
- ・アクティブ・シニアを一身二生として、地域社会の担い手として育成する
- ・地域社会を活性化させる担い手となるための入口は公民館であり、市民にとって身近でハードルが低いことをPRし、公民館の一つの存在感を向上させたい
- ・公民館事業の公平性（受益者負担、税の公平性など）のために、市内で地域の偏在が無いように講座の実施に努める

## 《公民館の自己評価》

平成 27 年度中央公民館事業については、公民館基本構想、基本計画にある「だれもがいつでも学ぶことができる機会の創出」及び「地域に生きる市民の底力を高め、市民による市民のための公民館としての機能をさらに高める」ことを目指して、事業を実施した。講座、イベントの目的やねらいを職員間で共有し、宣伝に努め、参加の促進を図りながら各種事業を実施した。

平成 27 年度に実施した公民館事業のうち評価対象は 83 事業で、平成 26 年度と比較すると 5 事業増加している。

事業については、基本施策 10 の柱を踏まえ、市民ニーズや社会課題など重点事業及び継続すべき事業などとバランスを取りながら、分野別に全体の調整を図り実施した。

基本施策（1）については、講座の種類が内容が多岐に渡っており、対象とする世代も幅広く、楽しく学ぶという観点で、参加人数も安定が見られる。それ以外の基本施策については、内容は評価できても定員割れが見られる講座などもあり、人が集まらない講座についての内容と周知方法、動員について分析していく必要がある。講座実施後のサークル化については、5 団体が新たに結成され活動を始めており、学びからつながりを持った成果が生まれている。

講座等の開催場所としては、移動公民館として地域格差を埋めるために市内の公共施設での実施に努めているが、中央公民館、高幡台分室を拠点としながら、今後は市内各所の公共施設以外の活用も視野に入れながら講座づくりを進めていく。

## 日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	<b>基本施策(1)</b> <b>市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを              実感できるような事業の展開を図る。</b>		
事業の概要		事業経費	【謝礼】 1,029,000円
<p>【目的】 すべての人が学ぶことの楽しさ、集うことのすばらしさを実感できる事業を展開することを目的とする。</p> <p>【27年度に実施した講座・事業】 超初心者向けインターネット講座「パソコン使って楽々ライフ」「男子、厨房に入ろう」「親子で夏休みに絵本を作ろう」「はじめての陶芸」「初めての方でも大丈夫！ピアノで楽しもう～まずは一曲チャレンジ」「子育てと英語の楽しさ・面白さ～子ども英語の『学び』を考える」「アルミ缶でつくる昆虫ワールド」等、35講座を実施した。</p> <p>【内訳】成人事業14、高齢者事業3、青少年事業5、ひの市民大学10、映画会3</p>		延べ参加人数	2,664 人
事業の成果	<p>例年同様、幅広いジャンルの講座を企画・実施した。              若年から高年齢までの広い年齢層から多くの方の参加を期待していたところだが、想定より少ない参加者となった講座もあった。今後、日程・時間帯・会場を含めて内容の精査を行う必要がある。              様々な市民が学び合う場として概ね好評であった。</p>		
公民館運営審議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講座の種類・内容が多岐に渡っており、楽しく学ぶという意図が感じられるが、講座数が多すぎる気がする。</li> <li>・ 多くの年代の方に対応すべく、いろいろなジャンルの講座が組まれている。</li> <li>・ サークル化を果たした講座もあり、公民館としての大きな目標が到達できたことを評価する。</li> <li>・ 映画会については、費用対効果の面から、事業見直しを含めた検討を要する。</li> <li>・ パソコン講座については、状況とニーズをしっかりと把握して、効果的な内容にするべき。</li> <li>・ 高幡台分室での事業が増えたことを評価したい。</li> <li>・ 市民大学と公民館講座との事業の違いを明確にする必要がある。</li> </ul>		
事業の課題と改善策	<p>「楽しく学び、集って生きる」ための事業としては、公民館講座やひの市民大学の大方がこの柱に属する。分類方法については課題が残るが、多岐にわたり、様々なジャンルや世代ごとに行う事業、ひの市民大学事業など、公民館が担う講座の目的は十分果たしていると考ええる。</p>		

## 日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	<b>基本施策(2)</b> <b>誰もがともに生き学ぶあう機会を保障し、</b> <b>相互理解の推進に努める。</b>		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 4,646,000円
<p>【目的】 多文化共生、障害者と健常者の交流、世代間交流、男女平等参画社会の推進を図ることができることを目的とする。</p> <p>【27年度に実施した講座・事業】 「しあわせにしたい！を企画する～じいじばあばへお金では買えないプレゼントを渡そう！」「障害者理解講座 点字・超入門」「国際理解講座 ポーランドの過去、現在、未来」「おんがくでおでかけ」など5講座と「少年学級」「障害者青年・成人学級」「外国人のための日本語教室」の3つの委託事業を実施した。</p> <p>【内訳】 成人事業4、青少年事業1、委託事業3</p>		延べ参加人数	4,859人
事業の成果	<p>委託事業として実施している「少年学級」「障害者青年学級・成人学級」では、参加者が社会性を身につける学びや学び合いの機会の提供ができた。また、同じく委託事業の「外国人のための日本語教室」は、市内に暮らす外国人にとって、重要な学習機会となっていて、ニーズは非常に高い。</p> <p>講座については、それぞれ必要・重要なテーマだが、結果としては参加者が少なかった。今後も継続して実施していくことが必要と思われるテーマなので、PR方法、参加者増に向けての方策を考えたい。</p>		
公民館運営審議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人のための日本語教室などは、総参加人数も多く、高く評価する。</li> <li>・オリンピック開催に向け、外国人との交流が出来るよう「外国人のための日本語教室」の受講者を講師に迎え「日本人のための外国語教室」を開催したらどうか。</li> <li>・この施策では、三世代交流事業、障害者との交流事業、国際交流事業に絞ることを提案する。</li> <li>・知っていれば行ったのにもと思う市民も多いと思う。内容も講師も良いのに、定員割れが多く残念である。</li> </ul>		
事業の課題と改善策	<p>「三世代」「外国人」「障害者」という切り口からだけでなく、交流を図る、理解を深めるなども視野に入れ、当事者及び関係者だけの事業展開ではなく、幅広く市民と関わりながら相互理解を深めることを目指した企画立案が必要である。委託事業については、公民館主催事業への連携も検討していけたら良い。</p>		

## 日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	<b>基本施策(3)</b> 心身共に健やかに生きることの素晴らしさを 理解できるような事業の展開を図る。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 532,000円
	【目的】 健康志向の高まりの気運を受け、食育などに応じた事業を展開することを目的にする。  【27年度に実施した講座・事業】 「話し方講座～上手に話せるコツ教えます」「今日から実践！睡眠学講座～眠りがわかる・くらしが変わる」「ラジオ体操ふたたび～正しく体を動かそう」など8講座と委託事業「ひのっ子シェフコンテスト」を実施した。  【内訳】 成人事業3、高齢者事業2、ひの市民大学3、委託事業1	参加延べ人数	725人
事業の成果	話し方、睡眠学、ラジオ体操、脳トレ、アロマなど、「健やかに生きること」を様々な視点で考えるための講座を実施した。 平成27年度で9回目を迎えるひのっ子シェフコンテストは、小学生が食育について考える場として、定着してきている。学校によっては、優秀なメニューを実際に学校給食で提供し、事業で得られた結果を現場にフィードバックしている。		
公民館運営審議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスよく企画された事業を進めていて、参加者も悪くない。</li> <li>・健康につながる講座をもっと充実させてほしい。</li> <li>・簡単にできる軽体操を取り入れ、地域でのサークル活動への活用ができるようにしたらどうか。</li> </ul>		
事業の課題と改善策	高齢者企画事業は市民委員が企画運営を進めているため市民ニーズにより近い講座が展開されているため集客も良い。「健康」「健やか」というキーワードは、市民ニーズや関心が高いので、時代や社会の変化に合わせ、アンテナを高く、情報収集をしながら、講座の展開を進めていく。		

## 日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	<b>基本施策(4)</b> <b>自然と人間との共生・人間相互の共生を はかるような事業を展開する。</b>		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 309,000円
<b>【目的】</b> 循環型社会、持続可能な社会の形成を意図した事業を展開することを目的とする。  <b>【27年度に実施した講座・事業】</b> 「親子で楽しむ豆腐作り～大豆の収穫から始めよう」「手打ちそば体験講座～親子でチャレンジ！」など4講座と委託事業「田んぼの学校」を実施した。		延べ参加人数	797人
事業の成果	自然と人間とがバランスよく共生することを考える場としての事業・講座を展開した。それぞれ体験型の講座として、多くの方が実際に体を動かし、自然とかかわりながら作業を楽しんでいた。特に、田んぼの学校では、年末に収穫祭を行い、参加者間の交流を図った。		
公民館運営審議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「田んぼの学校」で収穫したお米で作ったごはんが公民館大掃除の際の参加者に好評である。栽培時の自然とのふれあいも図れる有意義な事業であり、今後も継続してほしい事業である。</li> <li>・日野ならではの事業計画の継続を望む。</li> <li>・事業のなかで「自然と人間との共生・人間相互の共生をはかる」ことの意味、課題を何らかの形でつたえる努力がほしい。</li> <li>・自然に関わる外部団体との連携ができたことを評価する。</li> </ul>		
事業の課題と改善策	自然と人間の共生について、引き続き日野市の魅力を活かした事業展開を検討する。委託事業である田んぼの学校については、世代間交流や公民館事業への協力など、今後も広がりを見据えた事業として進めていく。		

## 日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	<b>基本施策(5)</b> <b>安心できる日野市・安全な社会を目ざした事業を展開する。</b>		
事業の概要		経費	【謝礼】 31,000円
<b>【目的】</b> 安全で安心できる街づくりを意図した事業を展開することを目的とする。  <b>【27年度に実施した講座・事業】</b> 「防災ごはんをつくってみよう!」「防犯講座～交通事故・悪質商法の被害にあわないために」「東日本大震災から5年～あのとき、あなたは…」の3講座を実施した。  <b>【内訳】</b> 成人事業2、高齢者事業1		延べ参加人数	75人
事業の成果	「防災ごはん」「交通事故・悪質商法」「東日本大震災」の3講座を開催した。多くの方が関心を持つジャンルと思われるが、想定したほどの参加者は得られなかった。 「防災ごはん」は、災害時に役立つような実務的なもの、「交通事故・悪質商法」は、まさに目の前にある課題、「東日本大震災」は、いつ来ても不思議ではない大災害について考える場とした。 それぞれ、参加した方からはたいへん好評だった。		
公民館運営審議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な施策にもかかわらず、講座数が少ないのではないか。</li> <li>・安全安心な日野市をめざすために、地道な継続は必要である。</li> <li>・防災に関する具体的な内容（日野市のシミュレーションに基づくような）の講座を企画してほしい。</li> </ul>		
事業の課題と改善策	身近な事柄、社会的な課題として、防災・防犯について考える場の必要性は十分ある。座学のみではなく、ワークショップや実習を入れるなどして、地域や仲間、家族とともに参加できる事業を進めていく。コース化するなど、単発ではない組み立ても検討する。		

## 日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	<b>基本施策(6)</b> 日野市をふる里として生きていけるような、 地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する。		
事業の概要	経費	【謝礼】 200,000円	
【目的】 自分の住んでいるまちを「ふる里」と呼べるようなまちづくりをめざした事業を展開することを目的とする。  【27年度に実施した講座・事業】 「親子でスイカ・マクワウリを作ろう」「デジタル一眼レフカメラに挑戦～写真で日野を再発見」「地図から見える日野の魅力」の3講座を実施した。  【内訳】 成人事業3		延べ参加人数	232人
事業の成果	日野市を考える場として、3つの講座を開催した。各講座とも、多くの参加者を得て、日野市について写真。地図。農業の視点から見直す場となった。 それぞれの愛好家が興味をもてるような内容を設定し、多くの方の参加が得られ、満足度も高かった。		
公民館運営審議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が地元を目を向けるきっかけとなる講座は、継続して行ってほしい（日野市の地形・寺社・水路などをテーマにしたものなど）。</li> <li>・日野市としての財産でもある多摩川や浅川、緑豊かな丘陵や湧水の魅力をもっと幅広く市民にPRする講座を計画してはどうか。</li> </ul>		
事業の課題と改善策	日野市にある資源を活かし、子どもから大人まで「いつでもどこでもだれもが」学べる機会を創出するには、身近なテーマでもあり、参加しやすい内容と考える。また、市民が地域（地元）を目を向けるきっかけとなるテーマでもあるので、今後、講座数を増加していきたい。		

## 日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	<b>基本施策(7)</b> 市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 1,155,520円
【目的】 地域に生きる市民の文化を、自ら発信できるような意識・気運を醸成することを目的とする。  【27年度に実施した講座・事業】 「日本の年中行事と季節の飾りつけ～室礼を学ぶ」「古布の活用『さき織りづくり体験』」「名画のようなぬり絵を作ってみよう！！」の3講座、「バイオリンで楽しむジャズクインテットライブ」など5つのバラエティサロン、「公民館まつり」「ひのアートフェスティバル」「分室まつり」の3つのイベントを実施した。  【内訳】 成人事業3、バラエティサロン5、イベント3		延べ参加人数	10,391人
事業の成果	さまざまなジャンルの文化的な手づくり系の講座、落語や和太鼓を含む多彩なステージを展開するバラエティサロンを実施した。 また、イベントとして公民館まつり・ひのアートフェスティバル・分室まつりを開催し、多くの市民が訪れた。  ＊イベント来場者 公民館まつり3,100名、ひのアートフェスティバル6,100名、分室まつり650名		
公民館運営審議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの講座は内容もよく、参加人数も多い。今後も継続しては。</li> <li>・公民館まつり（中央、分室）、アートフェスティバルともに長い歴史があり、今後とも多くの市民が楽しめるよう工夫し、末永く継続してほしい。</li> <li>・新しい文化とは何かを考えながら展開してゆくことも必要であるかと考える。</li> <li>・日野ってどんな町、をもっと具体的にアピール出来る要素を盛り込んだ講座を考えてみてはどうだろうか。</li> </ul>		
事業の課題と改善策	市民の文化の発信として、イベントやバラエティサロンなど定番、安定した事業として実施している。イベントは、工夫を凝らし市民実行委員会のもと行われているが、公民館事業から発信する新しい文化とは何か、新しく育成するもの、発掘するものなど、公民館の役割を明確にする必要がある。		

## 日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	<b>基本施策(8)</b> <b>憲法や平和・民主主義を地域にいかせるような</b> <b>事業の展開を図る。</b>		
事業の概要		経費	【謝礼・委託・借上】 764,000円
<p>【目的】 地域や暮らしと結びついた憲法学習・平和学習を展開し、市民力・自治能力をそだてるような事業を展開することを目的とする。</p> <p>【27年度に実施した講座・事業】 講座「日本国憲法と家族」「東京大空襲」など3回の映画会、戦後70年平和事業として委託事業を実施した。</p> <p>【内訳】成人事業1、映画会3、委託事業1</p>		延べ参加人数	338人
事業の成果	<p>幅広い年齢層に「平和」について考える機会を提供することができた。特に平成27年度は戦後70年ということで、他課とも連携して8月を「日野市平和月間」と定めて、例年より規模を拡大し市民実行委員会の手による平和事業を展開することができた。</p> <p>憲法に関する講座は、公民館が実施すべきテーマとして引き続き開催した。</p>		
公民館運営審議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この施策においては、参加人数が少なくとも、公民館でしかできない事業があると思われるので適切な事業を選択し、実施してほしい。特に平和事業は、地道に継続することが、全て。今後も続けて、次世代に受け継いでほしい。</li> <li>・一枚のはがきは、貴重な体験談を冊子としてまとめておくだけではもったいない。読み聞かせで使用するなどの活用方法を考えてほしい。</li> </ul>		
事業の課題と改善策	<p>戦後70年平和事業を委託事業として実施した成果をもって、引き続き市民実行委員会による事業の開催を進める。主に、映画会と平和事業となったが、公民館事業として特色ある事業を本数を増やし今後も展開する。</p>		

## 日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	<b>基本施策(9)</b> <b>地域社会を活性化させる担い手となる</b> <b>リーダーの育成を推進するような事業を展開する。</b>		
事業の概要		経費	【謝礼】 92,000円
	<p>【目的】 地域の活性化やサークル活動の担い手となるリーダー育成を推進することを目的とする。</p> <p>【27年度に実施した講座・事業】 「人が集まるチラシ・講座の作り方」「地域デビュー応援講座 自分の力を地域に活かす」の2講座を実施した。</p> <p>【内訳】 成人事業1、高齢者事業1</p>	延べ参加人数	49人
事業の成果	<p>「人が集まるチラシ・講座の作り方」は、新たなひの市民大学企画運営委員の研修を兼ねて実施した。また、「地域デビュー講座」については、これから地域にデビューする方を対象にすることを想定したが、実際はすでに活動中の方が中心になってしまった。</p> <p>いずれの講座も、多くの方の参加は得られなかったが、参加された方からは好評だった。これからも、引き続き地道に継続していきたい。</p>		
公民館運営審議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者の少なさは、市民のニーズと合っていないのではないか。「担い手となるリーダーの育成」ではなく、その前に「担い手の出会い、地活のチャンス」が最優先ではないか。</li> <li>・今後ますます高齢者の方々が地域で活躍せざるを得ない時代になって行くと思われる。リーダーとして必要な様々なジャンルの講座を組込んだコース的なものにしたらどうか。</li> </ul>		
事業の課題と改善策	<p>地域で活躍する市民を発掘する場として、公民館事業を展開する。地域づくり、まちづくりにおいて、市民の地域デビューを今後も促すための事業は必要である。新たな視点からの企画であったが実績数値としては低かった。地域の担い手を育成する機会を計画的に継続して進める。</p>		

## 日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	<b>基本施策(10)</b> <b>地域や日野市民の生活に根ざした</b> <b>諸問題を取り上げた事業を展開する。</b>		
事業の概要	経費	【謝礼】 26,000円	
<p>【目的】 公民館としての広報活動の充実、公民館利用者との交流、公民館事業の企画・運営への参画・協働を目的とする。</p> <p>【27年度に実施した講座・事業】 「情報発信講座～Facebookが使いたくなる講座withキョテン」「三世代交流企画 高幡台分室で七夕のお菓子を作ろう☆プロジェクト」の2講座を実施した。 そのほか、市民編集委員が主体となって作成している「公民館だより」を3回発行した。また、1か月に1回、公民館基本構想・基本計画推進会議を開催した。</p> <p>【内訳】 成人事業1、高齢者事業1</p>		延べ参加人数	47人
事業の成果	<p>情報発信ツール「Facebook」について学ぶ講座と、世代を越えた交流の場をつくることを目的とする講座の2講座を実施した。それぞれアプローチは異なるが、この施策を進めるためのものとして開催した。特にFacebookについては、講座開催の間隔を長くして、その間に自らが自宅から情報発信をしながら交流を進める手法をとった。 いずれの講座も、受講者の満足度は高かった。</p>		
公民館運営審議会の意見	<p>・他の事業と連携しながらさまざまな問題を多面的に取り上げ、具体的に解決する方法を考えていく事業を展開してほしい。</p>		
事業の課題と改善策	<p>大学やNPO、市民グループなどとの連携を広げるなど、市民ニーズや新たな切り口での事業展開を、新たな視点で今後も検討していく。</p>		

## 日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	<b>重点事業(1)</b> <b>「ひの市民大学」事業の内容を検証し、                  再構築を継続して行い、充実を図る。</b>
事業の概要	<p>ひの市民大学企画運営委員会が主体となって実施し、いつでもどこでもだれもが、学べる場として、世代を超えた「学び」を提供した。</p> <p>本年度、検証と再構築に取り組んだ結果を次年度事業に反映するために、要綱改正及び規約の見直し、市民企画運営委員を募集し、新たなメンバーで委員会を組織した。</p>
事業の成果	<p>市民企画によりねらいや目的に沿って講座を実施することで、市民の学び、学び合いを促進する機会を提供した。前期は例年実施している講座を、後期は市の戦略となるヘルスケア・ウェルネスを視点に健康をテーマにした実技を取り入れて実施した。</p> <p>市民企画運営委員会の見直しについては、新たに市民委員を募集し、要綱等を整理した。</p> <p>&lt;事業数&gt;13事業      &lt;参加人数&gt;1,464人</p>
公民館運営審議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客力に優れた事業であるから、公民館事業とのすみわけを熟考しながら、継続的な検証と見直しをしてほしい。</li> <li>・ひの市民大学の中長期的展望、市としての位置づけを明確にして、公民館にこの事業が属していることの意味を明確にする必要がある。</li> </ul>
事業の課題と改善策	<p>リニューアルした組織で、新たなひの市民大学の展開に向けて、市民とともに事業を発展していく。定例で行う市民企画運営会議の中で、事業の評価・検証を行い、軌道修正等の改善策を検討していく。</p>

## 日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	重点事業(2) 「ひのアートフェスティバル」事業の内容を検証し、 充実を図る。
事業の概要	
	ひのアートフェスティバルは、地域文化の振興と身近なところで芸術を享受する目的で毎年8月下旬に自然的景観と歴史的建造物を残す仲田の森蚕糸公園で開催している。市民の実行委員会と共催で、ステージ、展示、手作りワークショップ等のイベントを行った。
事業の成果	
	<p>19回目を迎え、例年行っている内容のほかに日野第一中学校吹奏楽部によるオープニング、私立聖徳学園中学・高校の和太鼓クラブのステージ、公民館事業からの作品展示、星槎国際高校によるアート部門への参加など、新たな取り組みを行った。</p> <p>ステージ・展示・手作り等の各部門すべてについて、ボランティアを含めて例年を超える参加を得た。</p> <p>《実施日》8月22日(土)・23日(日)  《場 所》仲田の森蚕糸公園  《参加人数》 6,100人</p>
公民館運営審議会の意見	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の地を活かしたいろいろな工夫が会場内に展開され、関係者の努力が見える。</li> <li>・来年度は、20回となる。節目の年として記念事業を企画してはどうだろうか。</li> </ul>
事業の課題と改善策	
	<p>アート部門（展示）及びステージ部門と、例年工夫し内容の充実を図っているが、アートフェスティバル実行委員会の体制や事業費の在り方、市民主体で行う事業であることなど、実績や成果が高く評価される中、市民の負担軽減について検証を常に行う必要がある。</p> <p>アート部門（展示）について、その場所や方法を検討することが必要である。</p>

## 日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	<p><b>重点事業(3)</b>  <b>公民館サークル・団体の学習活動の資料を再編し、参加したい市民へのわかりやすい提供情報を作成する。</b></p>
事業の概要	<p>学びたい市民の方からの窓口や電話での問い合わせ対応、公民館ホームページでの情報提供などを引き続き進める。          新たにサークルを組織しようとしている市民には、公民館で活動する際のお願いや注意をして、公民館の本旨に合う形での活動を促している。また、講座終了後、引き続き自らが主体として動けると見込まれる場合には、サークルの発足支援と、しばらくの間は、活動の手伝いをしている。</p>
事業の成果	<p>今年度の館の目標として、公民館の情報発信に努めた。①館内に案内を掲示 ②ホームページ内にサークル一覧を更新した。          平成28年度において、談話室及び中庭等の整備により「新しいことが生まれるみんなの居場所」として「学ぶ・つながる・行動する」を目指し、情報の発信の拠点として整備を予定している。</p>
公民館運営審議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の存在を市内全域に知ってもらえるよう、これからも尽力してほしい。</li> <li>・公民館での市民のつながり、特に三世代交流が市民の日常生活にうるおいをもたらせ、若者の人格育成、高齢者の健康寿命を伸ばす手立てに役立たせるためのPR情報を作成してほしい。</li> </ul>
事業の課題と改善策	<p>談話室の整備や、事務室との空間を一体化することで、公民館受付窓口が市民にとってもオープンスペースに改修し、市民への情報発信やサークル化へのアドバイスなど、今後、ソフト面の充実に力をいれていく。</p>

## 日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	<b>重点事業(4)</b> <b>戦後70年平和事業を実行委員会形式で実施する。</b>
事業の概要	<p>戦後70年にあたり、文化スポーツ課、郷土資料館、図書館と中央公民館が連携して、戦争の悲惨さと平和の尊さを考える事業を市内広域で展開した。</p> <p>公民館としては、例年8月に実施している平和事業を拡大し、市民有志からなる戦後70年公民館平和事業実行委員会による委託事業として実施した。</p>
事業の成果	<p>8月1日に多摩平の森ふれあい館で映画「火垂るの墓」と公演「若者は考える～平和な今をどう生きる」を、14日にひの煉瓦ホールで「8月に何があった～次の世代に伝える戦争と平和」を実施した。</p> <p>特に、「若者は……」については、大坂上中と日野四中および明星大学の演劇部が出演、全体構成および演出を立川・八王子にキャンパスがある通信制の星槎国際高等学校の生徒が主体的に実施した。</p> <p>「8月に何が……」に組み込んだ戦後70年記念講演では、作家で東京大空襲を語り継ぐ活動をしている早乙女勝元氏を講師に迎えた。</p> <p>「一枚のはがき」には、市民が直接執筆したもの、座談会を行いまとめたもの、インタビューをおこなったもの全43編を収録し、市民が実体験した戦中・戦後の記録を引き継ぐことができた。</p>
公民館運営審議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和事業などに対して公民館の特色を生かした取り組みを引き続き実施していただきたい。</li> <li>・戦後70年公民館平和事業の「一枚のはがき」は地域住民の間からも大変評判が良かった。</li> </ul>
事業の課題と改善策	<p>実行委員会形式にしたことで、平和事業の内容がより充実し、好評であったことから、今後もこの形での事業をすすめていく。</p>

○日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日  
制定

(目的)

第1条 この要綱は、社会教育法(昭和24年法律第207号)第32条に規定する、公民館の運営の状況に関する評価等の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市中央公民館(以下「公民館」という。)は、毎年1回、公民館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 公民館は、公民館運営審議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 公民館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 公民館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 公民館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、公民館管理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、公民館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

## 第 25 期公民館運営審議会委員名簿

委員長	宮崎 竹子	社会教育の関係者
副委員長	鈴木 辰郎	学識経験者
委員	畔上 栄輔	公募による市民
委員	宇賀神 宏	社会教育の関係者
委員	枝川 一巳	公募による市民
委員	岡部 君夫	学校教育の関係者
		(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)
委員	内田 清	学校教育の関係者
		(平成 27 年 4 月 1 日より)
委員	酒井 烈	学識経験者
委員	白尾 美佳	学識経験者
委員	樋口 周子	社会教育の関係者
委員	武藤 知江子	家庭教育の向上に資する活動を行う者
任期	自 平成 26 年 7 月 1 日	
	至 平成 28 年 6 月 30 日	

## 第 26 期公民館運営審議会委員名簿

委員長	宮崎 竹子	社会教育の関係者
副委員長	鈴木 辰郎	学識経験者
委員	畔上 栄輔	公募による市民
委員	宇賀神 宏	社会教育の関係者
委員	枝川 一巳	公募による市民
委員	内田 清	学校教育の関係者
委員	今尾 恵介	学識経験者
委員	南雲 成二	学識経験者
委員	樋口 周子	社会教育の関係者
委員	須崎 奈緒美	家庭教育の向上に資する活動を行う者
任期	自 平成 28 年 7 月 1 日	
	至 平成 30 年 6 月 30 日	

## 公民館事業のあらまし

### ① 成人事業

#### ア. バラエティサロン

地域の中で気軽に“質の高い文化”に親しめる場として位置付け、音楽の演奏会等を開催する。

回	開催日	内 容	出 演	会 場	参加人数
269	5月30日	バイオリンで楽しむジャズクインテットライブ	HRJQ (Hino Renga Jazz Quintet)	市民の森ふれあいホール	50
270	10月3日	琴とギターが織りなす古今東西、音楽の旅	ら・ぶりーさ	新町交流センター	74
271	11月28日	オールショパンプログラム～華麗なるショパンへの旅	岡本 知也	煉瓦ホール	176
272	1月9日	新春！学生落語&学生和太鼓	中央大学落語研究会、聖徳学園中学・高等学校和太鼓部	中央公民館	18
273	3月12日	二胡の調べを楽しむ	太田久遠ほか	市民の森ふれあいホール	50

#### イ. 映画会

名画と呼ばれる作品を取り上げて上映し、その時代背景、製作過程、監督、俳優などについて考察する。午前10時からと午後1時30分からの2回上映した(269回は1回上映)。上映会場は中央公民館で1回、福祉支援センターで3回、多摩平の森ふれあい館で1回。

回	開催日	作 品	監 督	出 演	参加人数
266	4月25日	戦争と青春	今井正	工藤夕貴ほか	43
267	6月27日	「昭和20年3月10日東京大空襲」「東京大空襲」「僕の村は戦場だった」	アンドレイ・タルコフスキー(「僕の…」)	コーリャ・ブルリャエフほか(「僕の…」)	54
268	8月1日(1回上映)	火垂るの墓	高畑 勲	(アニメ)	9
269	2月6日	地下水道	アンジェ・ワイダ	テレサ・イゼウスカほか	47
270	3月5日	めし	成瀬巳喜男	原節子ほか	85

#### ウ. 超初心者向けインターネット入門講座～パソコン使って楽々ライフ

開催日	①5月13日～5月27日 ②9月25日～10月9日
会 場	①豊田駅北交流センター ②中央公民館高幡台分室
開催回数	全6回(2会場で実施)

内容他	インターネット初心者を対象として、その上手な利用方法、そこに潜む危険性から身を守るための基礎知識などを学ぶ。
講師	シニアネットクラブ会員
参加人数	①延べ69人 ②延べ37人

#### エ. 親子でスイカ・マクワウリを作ろう

開催日	5月9日～7月18日
会場	南平耕作地
開催回数	全4回
内容他	南平の耕作地で、スイカとマクワウリの植え付けから収穫までを親子で実体験をした。
講師	濱田豊氏(NHK趣味の園芸講師)、八子廣氏(新生エコライフクラブ代表)
参加延べ人数	延べ85人

#### オ. 男子、厨房に入ろう!

開催日	6月13日～7月11日
会場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全3回
内容他	料理初心者・男性を対象に、基礎料理講座とした。
講師	横坂 薫 氏(市内日本料理店店主)
参加人数	延べ28人

#### カ.. 話し方講座～上手に話せるコツ教えます

開催日	6月11日～8月5日
会場	中央公民館
開催回数	全5回
内容他	①感じよく自己紹介をしよう～魅力的なアピールの方法 ②人前で話す(1)～司会の練習で「仕切る」「まとめる」コツを知る ③人前で話す(2)～朗読から学ぶスピーチのコツ ④物事を説明する ～得意なこと、興味あることを人に説明する ⑤気持ちが伝わる話し方 ～感謝の言葉を伝えてみる の5回シリーズ。
講師	村松 真貴子氏(元NHKキャスター)
参加人数	延べ96人

#### キ. 日本の年中行事と季節の飾りつけ～室礼を学ぶ

開催日	6月27日～2月27日
会場	中央公民館

開催回数	全5回
内容他	8か月、5回の講座。季節ごとの飾りつけ、室礼を学んだ。
講師	枝川 寿子氏(室礼講師)
参加人数	延べ88人

ク. デジタル一眼レフカメラに挑戦～写真でひのを再発見～

開催日	7月12日～8月2日
会場	市民の森ふれあいホール、高幡不動尊
開催回数	全4回
内容他	2回座学、3回めに実習、最終回に講評とした。講座終了後、作品を談話室に展示した。
講師	小山 伸也氏(プロカメラマン)
参加人数	延べ40人

ケ. 親子で夏休みに絵本を作ろう

開催日	7月23日～8月27日
会場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全6回
内容他	親子で一緒に世界で1冊の本をつくった。
講師	島崎 さち子氏(市民講師)
参加人数	延べ75人

コ. 防災ごはんをつくってみよう！

開催日	8月29日
会場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全1回
内容他	災害時の調理として「ビニール袋」料理を学んだ。
講師	万願荘自治会自主防災会
参加人数	48人

サ. 幸せにしたい！を企画する

～じいじばあばへお金では買えないプレゼントを渡そう！

開催日	9月5日・12日
会場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	①親子でアルバムブック作成と祖父母の絵を描く ②ひの児童館を会場として子どもたちと音大学生と一緒に遊びながら敬老の日にちなんだ話をした。
講師	①横山ひとみ氏(スクラップブック協会) ②国立音楽大学七夕座

参加人数	延べ35人
------	-------

#### シ. 手軽に作れる健康薬膳入門

開催日	9月6日～10月4日
会場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全5回
内容他	豚バラのプーアール茶煮などの調理を行いながら、香りや味を楽しみ、健康への効能や薬膳の歴史を学んだ
講師	チョー・ジェンジュン氏(中国料理研究家)
参加人数	延べ71人

#### ス. はじめての陶芸

開催日	9月8日～10月28日
会場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全11回
内容他	マグカップ、角皿をつくった。
講師	田村 義寛氏(陶芸家)
参加人数	延べ165人

#### セ. ココロとカラダに届く癒しのアロマ講座

開催日	9月19日～11月7日
会場	中央公民館
開催回数	全3回
内容他	テーマごとにオリジナルのアロマグッズを製作。毎回、アロマについての効用や香りの特徴を学び、後半で製作をした。
講師	金子 智子氏(NARDJAPANアロマセラピーアドバイザー)
参加人数	延べ41人

#### ソ. 古布の活用「さき織りづくり体験」

開催日	9月24日～10月8日
会場	中央公民館
開催回数	全3回
内容他	さき織りの作成、織物に関する理論を学び、実際に古布から糸をつくり、コースターを織り上げた。
講師	中村 由紀子氏
参加人数	延べ30人

#### タ. 星空観測講座～日野の夜空を見上げようWith明星大学

開催日	10月17日～12月19日
-----	---------------

会 場	明星大学
開催回数	全3回
内容他	明星大学を会場に、夜間開催した。同大学の観測施設も使用し、星空観測をした。
講 師	小野寺 幸子氏(明星大学准教授)
参加人数	延べ32人

チ. パソコンくらぶIN高幡台分室

開催日	10月16日以降、原則として毎月第1・第3金曜日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全10回
内容他	パソコンに自由に触れるサロン形式として開催。
講 師	職員講師。1月以降は、松村 良氏(市民講師)
参加人数	延べ62人

ツ. 分室まつりでネイル&けん玉体験

開催日	10月24日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	1回
内容他	分室まつりに公民館イベントが参加する形で実施した。
講 師	下河原 伸 氏(けん玉指導員)、竹島 恭子氏(ネイリスト)
参加人数	約70人

テ. 初めての方でも大丈夫！ピアノで楽しもう～まずは一曲チャレンジ

開催日	10月22日～12月17日
会 場	中央公民館
開催回数	全5回
内容他	ピアノ超初心者を対象に、なにか1曲でも人前で演奏できるように、を目標にした講座。
講 師	職員講師
参加人数	延べ47人

ト. 国際理解講座「ポーランドの過去、現在、未来～戦後70年の今、激動の時代を振り返ることの意味～」

開催日	10月31日
会 場	中央公民館
開催回数	1回
内容他	ポーランドの歴史を学びながら、同国についての理解を深める。

講師	ドロタ・ハウサ氏(ジャーナリスト)
参加人数	73人

#### ナ. 手打ちそば体験講座～親子でチャレンジ

開催日	11月1日
会場	中央公民館
開催回数	1回
内容他	講師のデモンストレーション後、親子でそば打ちを楽しんだ。打ったそばは、みんなで試食をした。
講師	鈴木 清秋氏(日社協手打ちうどん会)
参加人数	10組24人

#### ニ. 多摩の山々トレッキング入門

開催日	11月6日～12月11日
会場	中央福祉センター、高尾山、浅間嶺
開催回数	全6回
内容他	座学と実地を織り交ぜ、登山について学んだ。
講師	富岡 伸次氏(元日野市山岳連盟会長)ほか
参加人数	延べ104人

#### ヌ. 親子で楽しむ豆腐作り～大豆の収穫から始めよう

開催日	11月14日～1月16日
会場	南平耕作地、中央公民館高幡台分室
開催回数	全3回
内容他	3回にわたり、新生エコライフクラブの協力を得て、大豆の収穫から豆腐作りまでを学んだ。
講師	濱田豊氏(NHK趣味の園芸講師)、八子廣氏(新生エコライフクラブ代表)、小田仁志氏(百草食品代表)
参加人数	延べ48人

#### ネ. 今日から実践！睡眠学講座～眠りからわかる・くらしが変わる

開催日	11月21日～12月5日
会場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	睡眠について学んだ。
講師	①福田 一彦氏(江戸川大学教授) ②友野 なお氏(睡眠コンサルタント)
参加人数	延べ29人

#### ノ. 障害者理解講座 点字・超入門

開催日	12月1日～12月15日
会場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	12月3日～9日の障害者週間にちなんで、点字について初歩の初歩を学ぶ場とした。読むこと、書くことの基本を点字図書館の方に学び、市内在住の視覚障害者を招き、当事者の声を聞きながら、参加者が打った点字を読んでもらった。
講師	尾崎優子氏(日本点字図書館図書製作課課長)、河野泰弘氏(市内在住の視覚障害者)
参加人数	延べ14人

#### ハ. 情報発信講座～Facebookが使いたくなる講座withキョテン

開催日	12月1日～2月16日
会場	キョテン107
開催回数	全3回
内容他	講座と講座の間を開け、参加者が実際にFacebookページをつくりながらの講座。
講師	野村智子氏(意外と遊べる日野マガジン編集長)
参加人数	延べ20人

#### ヒ. 初めてでも楽しく学べる！家庭でできるクリスマスリース作り

開催日	12月6日
会場	多摩平交流センター
開催回数	1回
内容他	クリスマスリースを手作りした。
講師	榎戸 芳氏(造園施工管理技士)
参加人数	21人

#### フ. 家庭菜園栽培管理のコツ

開催日	1月23日～2月6日
会場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全3回
内容他	野菜の栽培について、種類ごとの話を聞いた。また、実際に畑をつかい、「マルチ」の敷き方の説明を聞いた。
講師	大貫卓爾氏(元東京都西多摩農業改善普及センター長)
参加人数	延べ57人

#### ヘ. 「子育てと英語の楽しさ・面白さ」～子ども英語の「学び」を考える～

開催日	1月26日～2月9日
会場	中央公民館

開催回数	全2回
内容他	子育て中の翻訳者を講師に招き、子どもと英語のふれあい方などを学んだ。
講師	鹿田昌美氏(翻訳家)
参加人数	延べ57人

ホ. 名画のようなぬり絵を作ってみよう

開催日	2月5日～26日
会場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全4回
内容他	色鉛筆の基本的な使い方、重ね塗り、色塗りの強弱などを学んだ。最終回では作品発表をして相互に批評をした。
講師	須貝光一郎氏(大人の塗り絵インストラクター)
参加人数	延べ55人

マ. 日野の生きもの～最近のトピックス 1、植物編 2、昆虫編 3、野鳥編

開催日	2月13日～2月27日
会場	中央公民館
開催回数	全3回
内容他	植物、昆虫、野鳥について、それぞれの専門家から話を聞いた。
講師	杉浦 忠機氏(日野の自然を守る会) 森川 正昭氏(日野の自然を守る会) 金子 凱彦氏(日野の自然を守る会)
参加人数	延べ63人

ミ. 羊毛フェルトでもこもこアクセサリーをつくろう

開催日	2月18日～3月3日
会場	多摩平交流センター
開催回数	全3回
内容他	羊毛フェルトを使い、子どもたちに興味を持ってもらえるようなアクセサリーを作成した。
講師	島立清美氏(市民講師)、おざきえみ氏(市民講師)
参加人数	延べ40人

ム. 日本国憲法と家族

開催日	2月20日～3月5日
会場	中央公民館
開催回数	全3回

内容他	憲法 13 条と 24 条を中心に、「家族」について学ぶ場とした。
講 師	橋本基弘氏(中央大学副学長)
参加人数	延べ26人

#### メ. 地図から見える日野の魅力

開催日	2月28日～3月13日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全3回
内容他	日野市の地図・構造物・地形について、それぞれの専門家・研究者から話を聞いた。
講 師	今尾恵介氏(地図研究家)、小野田滋氏(鉄道総合研究所)、皆川典久氏(東京スリパチ学会代表)
参加人数	延べ107人

#### モ. おんがくで おでかけ!

開催日	3月6日～3月13日
会 場	多摩平交流センター、生活・保健センター
開催回数	全2回
内容他	主に未就学の障害児・家族を対象に、体を動かし、音楽で遊ぶノウハウを学んだ。
講 師	国立音楽大学リトミックサークルほか
参加人数	延べ16組40人

#### ヤ. 東日本大震災から5年～あのとき、あなたは～

開催日	3月11日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	東日本大震災当日、同時刻開催とした。あの日、どんなことがあったのかを映像等で振り返った。また、防災やボランティアのことを、考える時間も設けた。
講 師	松本真理子氏(中央大学ボランティアセンター)、宮崎雅也氏(日野市ボランティアセンター)、都立南平高校有志「YouSee」
参加人数	16人

#### ユ. 人が集まるチラシ・講座の作り方

開催日	3月12日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回

内容他	実際のチラシを見ながら、関心を持たれる・人が集まるということについて学んだ。
講師	坂田静香氏(NPO法人男女平等企画おおた)
参加人数	13人

## ② 成人委託事業

### ア. 外国人のための日本語教室<委託事業>

地域の中で外国人が生活していくために、必要な日本語を学ぶ場として始まった事業。市内に住む外国人同士や外国人と日本人の交流を通して相互理解を深め、異文化共生を実践する場となっている。

ア)委託先 日野国際友好クラブ

イ)委託料 381,000円

ウ)委託期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日

エ)クラス 日本語能力レベルが同程度の学習者ごとに編成。一人の教師が1～3人の学習者を受け持つ。

コース		水曜日(午前)	水曜日(夜間)	金曜日(夜間)
時間		午前10時～正午	午後7時～9時	午後7時～9時
会場		中央公民館 中央福祉センター	七生福祉センター 公民館高幡台分室	中央公民館 中央福祉センター
回数		全36回	全37回	全39回
延べ 参加 人数	学習者	322	221	893
	ボランティア	447	286	705

全112回 1,436人(学習者) 1,438人(ボランティア)

水曜日午前コースに保育あり。

### オ)教材

「みんなの日本語 初級Ⅰ、Ⅱ」、補助教材として絵カードや聴解CD、市販のテキスト、新聞など

### カ) 課外授業・行事

開催日	内 容	会 場	参加人数
5月24日	バーベキューパーティ	ふれあい橋	70
10月24日	鎌倉散策、歴史探訪	鎌倉	29
12月13日	イヤーエンドパーティ	中央福祉センター	86
3月13日	修了式・日本語スピーチ大会	中央公民館	59

延べ参加人数244人

※イヤーエンド・パーティではお互いの国の文化等を披露しあい、修了式では日本語スピーチ大会を行い、楽しみながら交流を深めている。

イ. 田んぼの学校<委託事業>

農体験、その他の活動を通じて、自然に親しみ、そこで暮らす生物との繋がり、得られた大地の恵みを享受しながら、生きる・学ぶ・触れ合う・育てる力を学ぶとともに、環境問題も含め、自然と人との共存、人と人との関わり・繋がり場としている。

- ア)委託先 田んぼの学校運営委員会 代表 松本 保  
 イ)委託料 224,000円  
 ウ)委託期間 平成27年4月25日～平成28年3月31日  
 エ)内容ほか

会場	新町水田・南平水田・中央公民館
内容他	種まきから刈り取りまで、季節を通して水田にかかわり、米作りの楽しさと自然の厳しさを学ぶ。12月中旬の収穫祭には、もち米を使って餅つきや、赤飯を炊いて、収穫の喜びを分かち合った。
講師	田中 実 氏 阿川 良一氏 鈴木 秀一氏
参加人数	新町延べ参加人数 218人 南平延べ参加人数 387人 全19回 605人

ウ. 戦後70年公民館平和事業

戦後70年を迎え、日野市では8月を平和月間として、他課と連携して事業を展開した。公民館では、映画、公演、記念講演、冊子の作成をとおして、平和の大切さを考える場とした。

- ア)委託先 戦後70年公民館平和事業実行委員会 代表 村上 敏雄  
 イ)委託料 650,000円  
 ウ)委託期間 平成27年5月25日～平成27年8月31日  
 エ)内容ほか

会場	中央公民館、多摩平の森ふれあい館、市民の森ふれあいホールほか
内容他	①平和映画会「火垂るの墓」(8月1日。多摩平の森ふれあい館)、②平和公演 終戦70周年 若者は考える～平和な今をどう生きる」(同)、③子ども平和アニメ映画会とミニ平和劇「チロヌップのきつね」(8月7日。たまだいら児童館ふれっしゅ、みなみだいら児童館ぷらねっと)、④戦後70年公民館平和公演「8月に何があった～次の世代に伝える戦争と平和」(8月14日。ひの煉瓦ホール)、⑤冊子「一枚のはがき」作成

講師・出演	②大坂上中演劇部、日野四中演劇部、星槎国際高等学校有志、旧第四高女卒業生 ④早乙女勝元氏(作家)、清水利一氏(市民)、日野二胡サークル、混声合唱団コーロ・ファミリーア、チューリップツリーほか
参加人数等	①②計109人 ③26人 ④123人 ⑤1,000部

### ③ 高齢者事業

#### ア. 程久保うたごえパーク

開催日	4月11日～3月12日
会場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全10回
内容他	皆で集い楽器の伴奏に合わせて大きな声で歌うことで、家にこもりがちな方がストレス解消・リフレッシュをするとともに、仲間づくり・生きがいがづくりの場を提供した。
講師	村田 美果 氏 樋口 周子 氏 小林 晴美 氏
参加人数	延べ223人

#### イ. 朗読サロン

開催日	4月16日～11月12日
会場	中央公民館高幡台分室、中央公民館、平山季重ふれあい館
開催回数	全6回
内容他	公民館で活動をしている朗読サークルへ“発表の場を提供する”ことと同時に、小さな文字を読むのが段々と敬遠しがちな高齢者を対象に、名作を朗読で楽しんでもらい、参加者同士の交流を図ることができた。
講師	朗読サークルのみなさん(うづき、日野にじの会、のんど会)
参加人数	延べ91人

#### ウ. 三世代交流事業「高幡台分室で七夕のお菓子を作ろう☆プロジェクト

開催日	6月28日
会場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全1回
内容他	小学生と高齢後の交流の場。調理・会食・レクゲームをチームで進めた。七夕の菓子をつくった。
講師	明星大サークル「乾杯の種」
参加人数	延べ27人(高齢者15人、小学生12人)

#### エ. 脳トレーニングで記憶力アップをする講座

開催日	7月4日～9月26日
会場	中央公民館
開催回数	全4回

内容他	「脳と記憶」「脳と運動・栄養・睡眠」「運動は脳を鍛える」をテーマに、体を動かす場面も含めた講座。
講師	池田由美氏(首都大学東京健康福祉学部准教授)
参加人数	延べ107人

#### オ. シルバーエイジをどう生きる？

～知っておきたい制度の基本 & はじめてみよう生前整理

開催日	11月19日～12月3日
会場	中央公民館
開催回数	全3回
内容他	相続、年金、介護などの制度の基本をもっと知ること、に、「生前整理」の項目を加えた講座。
講師	山下由喜子氏(関東シニアライフアドバイザー協会)、相田浩和氏(東京司法書士会三多摩支会)、落合恵子氏(地域包括支援センターすてっぷ所長)、古川正行氏(関東シニアライフアドバイザー協会)
参加人数	延べ81人

#### カ. 防犯講座～交通事故・悪質商法の被害にあわないために

開催日	2月18日
会場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	高齢者の交通事故被害防止について、悪質商法やクーリングオフについて
講師	防災安全課職員、消費生活相談員
参加人数	延べ11人

#### キ. 地域デビュー応援講座「自分の力を地域に活かす」

開催日	2月21日～3月19日
会場	中央福祉センター、中央公民館
開催回数	全3回
内容他	自分の力を地域に活かす100の方法を考える、おとなの学びで地域をもっと楽しむ、10年後の地域のネットワークを見える化する、「じぶん地域手帖」をつくる をテーマにした講座。
講師	荻原修氏(明星大学教授)、倉持伸江氏(東京学芸大学講師)
参加人数	延べ36人

#### ク. アルミ缶でつくる昆虫ワールド

開催日	3月2日～3月16日
会場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全3回
内容他	各自がイメージする昆虫や動物をアルミ空き缶を切り、作品づくりをした。
講師	常松大純氏(東京学芸大学非常勤講師)

参加人数	延べ20人
------	-------

#### ④ 青少年事業

##### ア. 夏休み小学生集まれ！わくわく学習術

開催日	7月31日～8月4日
会場	市民の森ふれあいホール、味の素スタジアム、中央公民館
開催回数	全4コマ
内容他	学校の授業とは異なった視点・方法で、楽しみながら出来る学習を実施し、今回で22回目。さまざまな内容を提供した。 (1日目) 外国人と遊ぼう／日野国際友好クラブ 市民の森ふれあいホール (2日目) スポーツボランティア体験／東京ヴェルディ 味の素スタジアム (3日目) ミニチュアガーデン製作／川崎元氏(市民講師) 中央公民館 (4日目) 塗布・マーブリング体験／中村由紀子氏(織物研究家) 中央公民館
参加人数	延べ32人

##### イ. 冬休み子どもアニメ映画会

開催日	12月26日
会場	中央公民館
開催回数	2回上映
上映作品 ほか	「ムーミン、落ちてきた星の子」「魔法使いチャッピー」「忍たま乱太郎」
参加人数	延べ42人

##### ウ. 子どもの学びは遊びから～体験型教育が開く子どもの可能性

開催日	2月25日～3月10日
会場	中央福祉センター、中央公民館
開催回数	全3回
内容他	子育てについて、研究者と現場の方から話を聞いた。
講師	内田伸子氏(お茶の水女子大学名誉教授)、米田英史氏(キッズニア東京営業部マネージャー)
参加人数	延べ10人

##### エ. 春休み小学生あつまれ！あなたのアソビを応援します

開催日	3月26日・3月29日
会場	中央公民館、市民の森ふれあいホール
開催回数	全2回(2コマ)

内容他	小3～小6を対象に、異年齢・ほかの学校の子ともと交流し、ふだん学校でできない体験ができることをめざす。 ① ペットボトルロケット ② ゴールボール
講師	日野自動車親和会、東京都ゴールボール連絡協議会 小野和人氏
参加人数	延べ22人

#### オ. 夢の車をつくろう～子どもカーデザイン教室

開催日	3月29日
会場	日野自動車デザインスタジオ
開催回数	全1回
内容他	プロのデザイナーの指導のもと、自分がつくりたい車のデザインを考え、立体モデルをつくった。
講師	折原利明氏(日野自動車デザイン部) ほか
参加人数	延べ11人

#### カ. 春休み小学生集まれ！ わくわく学習術

開催日	3月30日・31日
会場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全2日(4コマ)
内容他	学校の授業とは異なった視点・方法で、楽しみながら出来る学習を実施した。テーマは「ものづくりと身近な科学を体験しよう」 ①からだの中を見てみよう ②消しゴムハンコを作ってみよう ③LEDとマイコンでびっくりイルミ ④カサ袋ロケットを作るとばそう
講師	①工藤直保子氏(GEヘルスケア・ジャパン) ②内藤志保氏(消しゴムハンコ作家) ③千葉 正氏(「土曜のひろば」講師) ④KUMA(認定NPO法人 子ども・宇宙・未来の会)
参加人数	延べ40人

#### ⑤ 青少年委託事業

##### ア、ひのっ子シェフコンテスト

市内の小学校4年から6年生を対象に、学校の給食で食べてみたい献立を募集した。

ア)委託先 ひのっ子シェフコンテスト実行委員会

イ)委託料 157,000円

ウ)委託期間 平成27年9月30日～平成27年11月30日

エ)内容ほか 18グループ(38人)から書類審査で選ばれた6グループ(11人)で調理コンテストを11月22日に日野第一中学校で実施した。

「調理の手際の良さ」「日野産野菜の使い方」「きれい・美しさ」「アイデア・工夫」「おいしさ」について審査し、最優秀賞、優秀賞、敢闘賞、努力賞を選んだ。

#### ⑥ひの市民大学

講座の企画・運営の検討から市民とともに「ひの市民大学」は、「いつでも どこで

も だれもが学べる場」をキャッチフレーズにして平成11年5月に開校した。

ア. 開講式

食生活と健康

開催日	4月26日
会場	ひの煉瓦ホール(小ホール)
開催回数	全1回
内容他	長生きができる食生活について、食品学・栄養学の面から考える講演会
講師	鈴木章生氏(服部栄養専門学校教授)
参加人数	134人

ア)西洋美術史家が見た浮世絵の魅力～北斎・変幻自在のデザイン

開催日	5月13日～5月27日
会場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全3回
内容他	(1)絵師“北斎”誕生 (2)名作「富嶽三十六景」刊行 (3)肉筆画への傾倒
講師	斎藤 陽一氏(元NHK制作プロデューサー)
参加人数	延べ218人

イ)日野のルーツを探る歴史散歩

開催日	5月29日
会場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	午前に座学、午後日野駅周辺の散策を組み合わせた講座
講師	山倉 一穂氏(元NHK学園講師)
参加人数	22人

ウ)維新開明の指導者 木戸孝允

開催日	6月7日
会場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全1回
内容他	明治維新の時代、木戸孝允について学んだ
講師	若松 茂美氏(元一橋大学教授)
参加人数	44人

エ)音楽よもやま話～魅惑のムードミュージック～

開催日	6月3日～6月21日
会場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全3回

内容他	ポールモーリアオーケストラを代表とするいわゆる「ムードミュージック」について、学んだ
講師	蓑茂 栄利氏(元音楽出版代表取締役)
参加人数	延べ131人

オ)西洋美術史家が見た浮世絵の魅力～歌麿と広重～

開催日	9月2日～9月30日
会場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全4回
内容他	喜多川歌麿、歌川広重の浮世絵について学んだ。
講師	斎藤 陽一氏(元NHK制作プロデューサー)
参加人数	延べ217人

カ)一神教の神々～民族対立～

開催日	10月9日～10月30日
会場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全4回
内容他	ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の3つの宗教の発生、発展と相互関係を追った。
講師	笈川 博一氏(元杏林大学社会科学部)
参加人数	延べ201人

キ)日野のルーツを探る歴史散歩Ⅱ

開催日	11月6日
会場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	5月29日に引き続き、座学と散策を交えて、日野を学んだ。
講師	山倉 一穂氏(元NHK学園講師)
参加人数	26人

ク)八王子の生んだ江戸期女流俳人の第一人者榎本星布について

開催日	12月5日
会場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	八王子に生まれ、日野にもゆかりがある俳人 榎本星布について学んだ。
講師	二ノ宮一雄氏(作家、俳人)
参加人数	25人

ケ)ラジオ体操ふたたび～正しく体をうごかそう

開催日	2月5日～2月26日
会場	新町交流センター

開催回数	全4回
内容他	だれもが知っているラジオ体操。今回は第一について、それぞれの体の動きを学んだ。
講師	秋山エリカ氏(東京女子体育大学地域交流センター長、元オリンピック新体操選手)ほか
参加人数	延べ113人

#### コ)カラダをリセット！(ストレッチ入門)

開催日	2月9日～2月23日
会場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全3回
内容他	自宅で簡単にできる効果的なストレッチについて、学んだ。
講師	佐藤 祐輔氏(理学療法士)
参加人数	延べ86人

#### サ)能・狂言の見方楽しみ方

開催日	3月2日～3月16日
会場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全3回
内容他	能と狂言の歴史、能の特徴、鑑賞の手引き
講師	柳沢 新治氏(元NHKディレクター)
参加人数	205人

#### シ)講演会 キラキラ輝く人生のために～公民館がつくる地域の絆

開催日	3月26日
会場	中央公民館
開催回数	1回
内容他	生きることは自分の居場所を作ること、公民館は人と人とをつないでいく
講師	村松真貴子氏(元NHKキャスター)
参加人数	42人

#### ⑥障害者事業

##### ア. 障害児少年学級 <委託事業>

市内の障害のある児童・生徒を対象に、月一回の定例会を開き、地域の子供たちやボランティアと一緒に遊び、学んでいる。また、年6回第2土曜日には、リトミック教室を開催している。

運営は、地域の方々との交流を図ることを目的に学級生の親が中心になって行っている。ボランティアの体制については、中央大学のボランティアサークルが組織的に関わってくれるほか、地域で関心を持つ人々の参加も見られる。

ア)委託先 日野市少年学級親の会 会長 亀山 祐子

- イ)委託料 1,503,360円
- ウ)運 営 日野市少年学級親の会役員
- 会 長 亀山 祐子
- 副会長 五十嵐 水香・太田 博子
- 会 計 古木 由紀子・小島 喜美代
- 書 記 服部 友美
- 会計監査 宮崎 祐子

エ)リトミック教室活動内容

開催日	5月9日～2月13日 午前10時～正午
会 場	中央公民館
開催回数	全6回
講師	山崎 詩奈子 氏
参加人数	延べ71人

オ)定例会活動内容

月 日	内 容	会 場	参加人数
4月19日	こあらんど	中央公民館高幡台分室	84
4月23日	総会	中央公民館高幡台分室	12
5月10日	開級式	中央公民館高幡台分室	78
6月14日	みんなの遊・友ランド	市民の森ふれあいホール	79
7月2日	合宿説明会	中央公民館高幡台分室	8
7月2日	保護者親睦交流会	中央公民館高幡台分室	9
8月21日～ 23日	夏合宿	大成荘(山梨県)ほか	48
9月13日	ボウリング大会	立川スターレーン	65
10月11日	運動会	中央公民館高幡台分室	80
11月8日	サッカー例会	中央公民館高幡台分室	78
12月13日	クリスマス会	中央公民館高幡台分室	82
1月27日	リトミック懇談会	中央公民館	17
2月14日	工作例会	中央公民館高幡台分室	69
3月29日	バスハイク	鉄道博物館	55

14回 延べ764人

イ. 障害者青年・成人学級 <委託事業>

障害者青年・成人学級は「健康な青年と触れ合う場所が欲しい」という障害を持った青年達の願いを実現するために、昭和50年に「日野市障害者青年学級」として誕生した。スローガンとして「ともに生き、ともに学ぶ」を掲げ、地域に根ざした活動を続け、現在に至る。

この学級の特色は、16歳以上の障害を持つ青年も持たない青年も一緒になって、自分達の学級の企画・運営を行っている点にある。現在さまざまな障害を持った青年達と学生や社会人など多彩な青年達が、定例会と分科会に参加し活動している。

平成5年度から地域で生活する成人期の障害者を対象に、衣食住働などを学習する分科会「生活を考える」が始まり、平成9年度には成人講座として交流中心の青年学級とは別に活動するようになる。対象は25歳以上の希望者で、地域での生活についてさまざまな問題を学習する場を提供し、生き生きと暮らす力を学ぶことを意識してプログラムを組んでいる。平成12年度より、成人講座から成人学級へ変更し、団体名も新しく「日野市障害者青年・成人学級」となり、障害児少年学級とは例年、合同定例会を通して交流を続けている。

- ア)委託先 日野市障害者青年・成人学級仲間の会 代表 木村 美子  
 イ)委託料 2,613,000円  
 ウ)運 営 障害者青年・成人学級運営委員会役員  
 青年学級担当 運営委員長 伊藤智春 ・ 山本詩織  
 会 計 石川 裕侑子  
 成人学級担当 熊谷 亜由美

各学級の各定例会の前に運営委員会を開き、企画・準備を行った。

エ)青年学級定例会活動内容

開催日	内 容	会 場	参加人数
5月24日	開級式	中央公民館	59
6月14日	ボーリング	立川スターレーン	62
7月19日	合宿説明会	中央公民館	53
8月 7日 ～9日	夏合宿	八ヶ岳高原大成荘	88
9月20日	多摩動物公園散策	多摩動物公園	51
10月18日	書道	中央公民館	42
11月15日	遠足	東京ディズニーランド	80
12月20日	運動会&クリスマスコンサート	市民の森ふれあいホール	57
1月10日	新春お楽しみ会	ひの煉瓦ホール	35
2月21日	白玉団子のデザート	中央公民館	49
3月20日	修了式	生活・保健センター	62

11回 延べ638人

オ)成人学級活動内容

開催日	内 容	会 場	参加人数
5月24日	開級式	中央公民館	11
6月14日	高幡不動アジサイまつり	高幡不動	14
7月12日	カラオケ	モコモコ	14

開催日	内 容	会 場	参加人数
8月2日	調理実習	中央公民館調理実習室	14
9月6日	ボーリング大会	SAP日野	14
10月4日	散策	昭和記念公園	15
11月7日 ～8日	合宿	箱根	15
12月20日	クリスマスコンサート	市民の森ふれあいホール	10
1月10日	新春おたのしみ会	ひの煉瓦ホール	11
2月7日	新年会	サカエヤ茶楼	11
3月20日	修了式	生活・保健センター	7

11回 136人

#### カ)分科会活動内容

##### A.ワープロ

開催日	4月～3月 第2・4金曜日 午後7時～8時30分
会 場	中央公民館
開催回数	全22回
講師	栗原 亜希子 氏
参加人数	延べ65人

##### B. 料理

開催日	9月～2月 第2土曜日 午前10時～午後0時30分
会 場	中央公民館
開催回数	全5回(9月・10月・11月・1月・2月)
講師	鈴木 直美 氏
参加人数	延べ69人

##### C. リズム体操

開催日	6月～3月 第4日曜日 午後1時30分～2時30分
会 場	中央公民館
開催回数	全7回 (6月・7月・9月・10月・11月・2月・3月)
講師	前田 致加子 氏
参加人数	延べ34人

##### D. パン教室

開催日	11月～3月 月1回・土曜日
会 場	七生特別支援学校
開催回数	全5回 (11月・12月・1月・2月・3月)
講師	富本 法子 氏
参加人数	延べ36人

## 4 公民館利用状況

(1) 中央公民館

① 目的別利用数(年間)

公民館事業または中央公民館使用分		市民グループ				市役所関係		その他		合計	
		(文化関係)		(体育関係)							
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
1023	12015	2864	25576	124	1014	42	612	8	190	4061	39407

※陶芸窯利用41回 登録団体8サークル

(回)(人)

② 目的別利用数(月別)

月	公民館事業または中央公民館使用分		市民グループ(文化関係)		市民グループ(体育関係)		市役所関係		その他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	47	442	257	2,447	8	80	6	52	0	0	318	3,021
5	191	3,114	192	1,780	13	95	3	26	0	0	399	5,015
6	69	639	252	2,299	8	57	14	99	0	0	343	3,094
7	86	797	254	2,164	14	94	6	58	0	0	360	3,113
8	51	620	188	1,509	10	69	2	30	0	0	251	2,228
9	67	620	250	2,121	10	64	1	25	0	0	328	2,830
10	90	1,013	267	2,445	7	29	0	0	0	0	364	3,487
11	131	1,740	230	2,143	2	14	0	0	0	0	363	3,897
12	83	876	235	1,971	11	112	0	0	8	190	337	3,149
1	68	581	232	2,015	19	215	6	252	0	0	325	3,063
2	72	805	244	2,294	11	105	2	20	0	0	329	3,224
3	68	768	263	2,388	11	80	2	50	0	0	344	3,286
計	1,023	12,015	2,864	25,576	124	1,014	42	612	8	190	4,061	39,407

(回)(人)

③ 部屋別利用率(月別)

月	区分	講座室A	講座室B	視聴覚室	調理実習室	小会議室	実習室	ホール	保育室
4	午前	72.0	64.0	72.0	28.0	40.0	88.0	72.0	40.0
	午後	76.0	64.0	88.0	12.0	52.0	84.0	60.0	24.0
	夜間	56.0	52.0	48.0	4.0	40.0	56.0	80.0	0.0
5	午前	87.5	79.2	87.5	54.2	75.0	87.5	79.2	75.0
	午後	75.0	66.7	87.5	45.8	70.8	87.5	79.2	45.8
	夜間	70.8	58.3	62.5	41.7	58.3	75.0	87.5	25.0
6	午前	72.0	56.0	84.0	36.0	52.0	88.0	76.0	56.0
	午後	68.0	72.0	76.0	36.0	68.0	88.0	68.0	36.0
	夜間	48.0	40.0	48.0	12.0	44.0	68.0	80.0	0.0

月	区分	講座室A	講座室B	視聴覚室	調理実習室	小会議室	実習室	ホール	保育室
7	午前	74.1	70.4	85.2	18.5	55.6	92.6	81.5	48.1
	午後	81.5	70.4	63.0	14.8	55.6	85.2	48.1	3.7
	夜間	66.7	59.3	44.4	11.1	48.1	59.3	96.3	0.0
8	午前	34.6	26.9	46.2	11.5	38.5	69.2	61.5	30.8
	午後	50.0	46.2	65.4	15.4	50.0	76.9	50.0	7.7
	夜間	34.6	30.8	30.8	15.4	23.1	61.5	80.8	7.7
9	午前	70.8	66.7	75.0	33.3	41.7	100.0	70.8	37.5
	午後	79.2	75.0	62.5	16.7	45.8	87.5	70.8	4.2
	夜間	83.3	75.0	66.7	8.3	29.2	75.0	100.0	0.0
10	午前	74.1	63.0	70.4	25.9	48.1	92.6	85.2	55.6
	午後	70.4	74.1	66.7	22.2	66.7	74.1	66.7	0.0
	夜間	70.4	59.3	66.7	7.4	33.3	70.4	81.5	3.7
11	午前	62.5	58.3	87.5	45.8	50.0	91.7	83.3	58.3
	午後	70.8	75.0	83.3	50.0	58.3	95.8	58.3	20.8
	夜間	70.8	70.8	66.7	25.0	45.8	83.3	87.5	12.5
12	午前	78.3	78.3	78.3	47.8	60.9	87.0	78.3	52.2
	午後	69.6	82.6	69.6	34.8	65.2	87.0	65.2	8.7
	夜間	78.3	69.6	78.3	8.7	30.4	65.2	78.3	13.0
1	午前	66.7	62.5	79.2	37.5	58.3	87.5	66.7	45.8
	午後	83.3	83.3	83.3	25.0	66.7	87.5	70.8	12.5
	夜間	45.8	50.0	54.2	4.2	37.5	66.7	75.0	4.2
2	午前	78.3	73.9	82.6	43.5	82.6	91.3	95.7	52.2
	午後	69.6	65.2	78.3	34.8	65.2	87.0	52.2	17.4
	夜間	56.5	52.2	65.2	8.7	43.5	60.9	73.9	0.0
3	午前	73.1	73.1	88.5	34.6	34.6	84.6	80.8	38.5
	午後	76.9	69.2	65.4	23.1	69.2	96.2	69.2	15.4
	夜間	57.7	50.0	57.7	7.7	23.1	69.2	76.9	7.7
年間計	午前	70.1	64.1	77.9	34.2	52.7	88.3	77.5	49.0
	午後	72.5	70.1	73.8	27.2	61.1	86.2	63.1	16.1
	夜間	61.4	55.4	57.0	12.8	37.9	67.4	83.2	6.0

(使用日数／開館日数＝%)

## (2) 中央公民館高幡台分室

### ① 目的別利用数(年間)

(公民館事業または中央公民館高幡台分室使用分)	市民グループ		市役所関係	その他	合計
	(文化関係)	(体育関係)			

回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
208	3,365	2,409	19,628	450	3,520	162	2,318	0	0	3,229	28,831

※陶芸窯利用 32回 登録団体 5サークル

(回)(人)

② 目的別利用数(月別)

月	公民館事業または中央公民館高幡台分室使用分		市民グループ(文化関係)		市民グループ(体育関係)		市役所関係		その他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	13	181	203	1,837	40	287	9	96	0	0	265	2,401
5	9	147	196	1,678	33	220	12	210	0	0	250	2,255
6	11	162	194	1,610	45	291	12	123	0	0	262	2,186
7	13	150	217	1,710	50	322	23	279	0	0	303	2,461
8	7	71	201	1,485	31	204	6	150	0	0	245	1,910
9	18	300	207	1,630	35	227	13	109	0	0	273	2,266
10	56	1,098	198	1,524	37	236	11	94	0	0	302	2,952
11	13	169	200	1,649	42	306	13	186	0	0	268	2,310
12	10	108	181	1,374	41	604	13	212	0	0	245	2,298
1	11	137	198	1,595	30	251	28	563	0	0	267	2,546
2	21	514	205	1,846	36	326	12	169	0	0	274	2,855
3	26	328	209	1,690	30	246	10	127	0	0	275	2,391
計	208	3,365	2,409	19,628	450	3,520	162	2,318	0	0	3,229	28,831

(回)(人)

③ 部屋別利用率(月別)

月	区分	実習室	和室	講座室1	講座室2	講座室3	講座室4	講座室5	講座室6
4	午前	48.0	64.0	72.0	64.0	48.0	68.0	80.0	48.0
	午後	32.0	56.0	80.0	68.0	60.0	52.0	44.0	36.0
	夜間	0.0	20.0	28.0	4.0	48.0	4.0	32.0	4.0
5	午前	50.0	75.0	75.0	50.0	54.2	75.0	79.2	41.7
	午後	20.8	50.0	75.0	62.5	58.3	70.8	50.0	41.7
	夜間	4.2	12.5	20.8	0.0	25.0	20.8	29.2	0.0
6	午前	52.0	80.0	76.0	64.0	48.0	68.0	80.0	40.0
	午後	40.0	48.0	88.0	64.0	36.0	56.0	44.0	44.0
	夜間	0.0	12.0	24.0	8.0	44.0	4.0	20.0	8.0
7	午前	51.9	59.3	74.1	55.6	55.6	70.4	85.2	63.0
	午後	40.7	44.4	81.5	59.3	55.6	63.0	59.3	70.4
	夜間	22.2	11.1	37.0	11.1	14.8	7.4	29.6	0.0
8	午前	42.3	46.2	73.1	46.2	26.9	46.2	69.2	50.0
	午後	23.1	65.4	69.2	53.8	46.2	50.0	76.9	38.5
	夜間	7.7	38.5	19.2	0.0	11.5	23.1	15.4	3.8
9	午前	54.2	62.5	79.2	62.5	70.8	66.7	83.3	54.2
	午後	54.2	37.5	83.3	70.8	70.8	62.5	66.7	50.0
	夜間	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3	8.3	20.8	12.5
10	午前	48.1	63.0	88.9	66.7	59.3	77.8	77.8	48.1

	午後	44.4	48.1	70.4	66.7	70.4	70.4	70.4	44.4
	夜間	0.0	14.8	22.2	3.7	25.9	11.1	22.2	3.7
11	午前	62.5	58.3	83.3	62.5	58.3	79.2	66.7	50.0
	午後	45.8	54.2	79.2	62.5	70.8	62.5	45.8	50.0
	夜間	4.2	29.2	20.8	0.0	20.8	20.8	16.7	12.5
12	午前	47.8	65.2	73.9	60.9	56.5	69.6	73.9	43.5
	午後	34.8	47.8	78.3	60.9	65.2	65.2	65.2	52.2
	夜間	0.0	13.0	26.1	0.0	34.8	17.4	4.3	8.7
1	午前	66.7	66.7	70.8	62.5	54.2	70.8	87.5	33.3
	午後	45.8	58.3	75.0	54.2	75.0	62.5	66.7	45.8
	夜間	8.3	25.0	20.8	0.0	29.2	8.3	16.7	8.3
2	午前	52.2	82.6	91.3	60.9	73.9	69.6	78.3	47.8
	午後	39.1	60.9	78.3	60.9	56.5	60.9	65.2	60.9
	夜間	0.0	26.1	21.7	8.7	39.1	26.1	26.1	4.3
3	午前	46.2	65.4	88.5	61.5	65.4	65.4	80.8	42.3
	午後	26.9	61.5	65.4	76.9	53.8	50.0	65.4	34.6
	夜間	0.0	30.8	26.9	7.7	30.8	3.8	3.8	3.8
年間計	午前	51.7	65.4	78.9	59.7	55.7	68.8	78.5	47.0
	午後	37.2	52.7	76.8	63.4	59.7	60.4	60.1	47.3
	夜間	4.0	20.8	23.8	3.7	29.5	12.8	19.8	5.7

(使用日数/開館日数=%)

## 5 第28回公民館まつり

今年度の公民館まつりは、「出会い ふれあい 学び合い」をテーマに、5月16日、17日の両日に催された。日ごろ中央公民館を中心に活動している各団体・サークルが、一年間の活動の成果を、作品の展示、音楽演奏、舞台、模擬店や体験コーナーを通して発表し、広く市民の皆さんに楽しんでいただくことができた。

参加者 延べ3,100人

会場	5月16日(土) 10:00~16:00	5月17日(日) 10:00~15:00	
中央公民館	実習室	喫茶コーナー	
	談話室	切り絵、活動紹介	
	ホール	人形劇、女声合唱	朗読
	講座室	フルート・オカリナ、ウクレレ、ハーモニカ、マンドリン、男声合唱、ギター	ギター
	視聴覚室	タディングレース展示・体験、おもちゃ修理	
	小会議室	飲食スペース(そば、うどん)	

集会室 1.2	陶芸、木彫作品展示	
福祉講座 練習室	水墨画作品展示	
集会室3	ステンドグラス作品展示	
健康 相談室	デジタル写真	
娯楽室2	囲碁体験	
公民館前広場	日野囃子、インドネシア舞踊、バンド 演奏、剣術演武	日野囃子
	模擬店、フリーマーケット、バザー	
児童館前広場	ひの児童館まつり	

参加、応援・協力サークル 58団体

## 6 第11回中央公民館高幡台分室まつり

市内程久保地区に、平成16年4月に公民館事業を運営する恒常的な拠点として高幡台分室が開設された。多くのサークルが登録し、それぞれの学習を通して地域の振興に努めている。

高幡台分室まつりは高幡台分室及び教育センター体育館を会場として、日頃高幡台分室を中心に活動しているサークルが、一年間の活動の成果を、展示、舞台、模擬店や体験コーナーを通して発表し、広く市民の皆さんに楽しんでいただくことができた。

来場者 650人

主催 公民館高幡台分室まつり実行委員会

協力 公民館利用者交流会

開催日	10月24日(土)
時間	10:00 ~ 15:00
展示	俳句作品、書道、版画、ハワイアンキルト、陶芸、写真、色鉛筆画、歴史資料、鉄道模型
ステージ	まつり囃子、太極拳、マジック、ギター、合唱、尺八、日本舞踊、一輪車、朗読
体験	ヨガ、香道、工作、ストレッチ、ネイルアート、けん玉
模擬店	カレーライス、ピザ、もりそば、チョコレートケーキ、クッキー、コーヒー、ホットドック、フランクフルト
公民館講座	程久保うたごえパーク 朗読サロン

## 7 第19回ひのアートフェスティバル

ひのアートフェスティバルは、市民が集う手作りの芸術祭で、平成9年度から「地域文化の振興」と「身近なところで芸術を享受しよう」という趣旨で開催されている。今回は19回目を迎え、8月22日・23日の両日に仲田の森蚕糸公園を舞台に開催した。ステージ部門では老若男女を問わず熱気あふれる演奏で盛りあがった。

フリーマーケットやクラフト出店などで賑い、模擬店では環境に優しいリユース食器を

使った。

参加者 延べ6,100人

共催 ひのアートフェスティバル実行委員会・中央公民館

開催日	8月22日(土)	8月23日(日)
時間	10:00~20:00	10:00~19:30
ステージ	日野第一中学校吹奏楽部 オルケスタ・デ・パパーノ オリビアバンド タマピカル Lala with 新島豪 THE EMERALDS アッコちゃんズ まったりー・フッカー マトリョミンアンサンブル「ウリーブカ」 CHOCOCHIP MAGNUM マエオ・アイランダーズ 村田村F THE SO-MARS	聖徳学園中学・高等学校 和太鼓部 吾空 いにしエーションズ S-BLOOD THE BEATRESS ざぶとんず Sena MAAAAS E/SKALATOR'S アラ・アツソ・ココ プレイズ・イン・ザ・サン・ゴスペル・クワイヤ アンヌール タマ・ドリーム・ジャズ・オーケストラ
手作り 広場など	ワンワン大行進、ミニチュアガーデン、ふわふわマスコット、楽しい駄楽器など	
模擬店、フリーマーケット、クラフト出店、氷の彫刻		

## 8 パネル・ショーケース展示状況

中央公民館の談話室内にあるパネル・ショーケースは、公民館を利用する自主グループ等が日頃の活動成果の作品を展示し、発表する場となっている。

また、公民館を訪れる方々に対し、広く社会教育活動への関心を与えている。

展示団体・内容

ひの切り絵サークル(切り絵) 楽しいデジカメクラブ(写真) きつつき会(木彫) 公民館講座作品(アルミ空き缶工作)
--

## 9 公民館保育室

昭和60年度に開設し、専用保育室による保育は平成3年度から始まる。対象は市内在住の1歳6か月から就学前までの幼児で、公民館主催事業の参加者または年間保育登録をしているグループに保育援助をしている。

親たちが学習・活動をしている間、子どもたちは専任保育者とともに保育室で2時間を

過ごしている。天気の良い日には近くの公園にも出かけ、年齢の違う子どもたちとの遊びの中で、思いやりや協力の心も生まれている。親も子どもも学ぶ機会として「親・保育者・職員」のコミュニケーションを図っている。

### (1) 公民館保育室の利用状況

#### 保育援助認定グループ

団体名	利用回数	利用延人数
ママのポケット(手芸)	24	132
れあれあ3B体操(健康体操)	6	6
いるか(子育て学習)	12	41
ACT(子育て学習)	24	68
NP(子育て学習)	23	79
rt-unfil(手芸)	21	59
保育付き講座	4	14
保育説明会保育懇談会	1	9
計	115(回)	408(人)

※合同保育を含む。保育援助は事前申込制で、1歳6カ月から就学前まで

## 10 公民館だより

編集は市民委員の協力により行われている。公民館の活動や事業を知らせるとともに、地域への関心を高めていくことを目的とした。発行回数は今年度は年4回。A3サイズ2つ折り全4ページ建てで、市内の主な公共施設等に配置している。

号 (発行日)	仕様	主な内容
第144号 (6月27日)	A3判2つ折り 単色刷り 2,000部～ 2,500部印刷	・第28回公民館まつり特集(ステージ、作品展示、模擬店・体験の取材記事など) ・三者懇談会が開催されました ・今年は戦後70年 平和イベントを紹介 ほか
第145号 (9月20日)		・サークルの仲間たち ひの切り絵サークル ・日野の風景(47) 日野の化石 ・アートフェスティバルが開催されました ・みんなで語ろう! 分室で三者懇談会 ・この夏の公民館事業あれこれ
第146号 (12月19日)		・サークルの仲間たち レディバード ・中央公民館50周年に向けて 第一弾 ・高幡台分室まつり今年も盛況 ほか

第147号 (3月19日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館50周年に向けて 第二弾 あらためて今、公民館ってどんな施設？</li> <li>・公民館といっしょにずっと続けています (障害者青年学級・外国人のための日本語教室)</li> <li>・恒例の年末大掃除をやりました</li> <li>・今年度も公民館事業いろいろありました ほか</li> </ul>
------------------	--

### 《参考》平成 27 年度 講座等参加人数

<b>成人事業</b>	<b>6,269</b>
講座	1,926
バラエティサロン	368
公民館映画会	238
委託・公民館平和事業	258
委託・外国人のための日本語教室	2,874
委託・田んぼの学校	605
<b>高齢者事業</b>	<b>596</b>
講座	596
<b>青少年事業</b>	<b>221</b>
講座	183
委託・ひのっ子シェフコンテスト	38
<b>市民大学</b>	<b>1,464</b>
<b>障害者事業</b>	<b>1,813</b>
委託・少年学級	835
委託・障害者青年・成人学級	978
<b>イベント</b>	<b>9,850</b>
公民館まつり	3,100
分室まつり	650
ひのアートフェスティバル	6,100
<b>総計</b>	<b>20,213</b>

平成 28 年度  
日野市中央公民館の運営の状況に関する評価書  
(平成 27 年度事業)

平成 28 年 9 月  
日野市中央公民館

〒191-0011  
東京都日野市日野本町七丁目 5 番地の 23  
電話 042-581-7580 ファクス 042-581-2110